

# 鹿児島県公立学校における令和5年度児童生徒のいじめ・不登校の状況



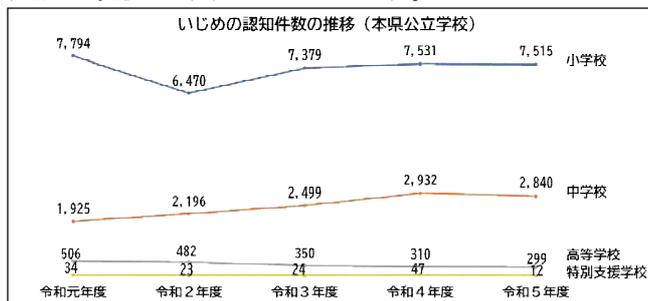
< 県教育委員会 HP >  
 高校教育課・義務教育課

鹿児島県公立学校における令和5年度児童生徒のいじめ・不登校の状況は次のとおりです。

## いじめの状況

### いじめの認知件数

令和5年度の本県公立学校におけるいじめの認知件数は10,666件（令和4年度10,820件）で、校種別の状況は下表のとおりです。



### いじめの態様

いじめの態様では、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」（64.9%）が最も多く、次いで、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」（22.1%）、「仲間はずれ、集団による無視をされる」（11.9%）となっています。また、「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」は2.7%です。

### いじめへの対応

学校等では、いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義やいじめの積極的な認知に対する理解が広がり、アンケートや教育相談の充実などによる児童生徒の細かな見取り、ネット上のいじめの積極的な認知が進んでおり、本県のいじめの認知件数は全国を超える水準になっています。

#### 【児童生徒100人当たりの認知件数（単位：件）】

	R1	R2	R3	R4	R5
本県（公立）	6.2	5.9	6.3	6.7	6.7
全国（国公立）	4.7	4.0	4.8	5.3	5.8

県教育委員会においては、「いじめはどの学校でも、どの子供にも起こり得る」こととして、「いじめを1件でも多く発見し、それらを解消する」という基本認識の下、引き続きいじめの防止等のための取組の充実を図ります。

## 不登校の状況

### 不登校児童生徒数

令和5年度の本県公立学校における不登校児童生徒数は5,432人（令和4年度4,507人）で増加傾向にあります。校種別の状況は下表のとおりです。

#### 【不登校児童生徒数の推移（本県公立学校）】

	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	466	595	833	1,240	1,610
中学校	1,511	1,671	2,153	2,503	2,960
高等学校	726	723	702	764	862
計	2,703	2,989	3,688	4,507	5,432

### 不登校児童生徒数の増加の背景

不登校児童生徒数の増加の背景には、児童生徒の休養の必要性を明示した「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透等による保護者の学校に対する意識の変化、コロナ禍の影響による登校意欲の低下等が考えられます。不登校児童生徒について学校が把握した事実の校種別の状況は下表のとおりです。

	小学校	中学校	高等学校
学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	30.3%	30.3%	30.7%
生活リズムの不調に関する相談があった。	29.8%	22.0%	19.5%
不安・抑うつに関する相談があった。	22.4%	21.8%	18.9%

### 不登校への対応

不登校への対応については、未然防止の取組としての魅力ある学校づくりをはじめ、児童生徒の心身の不調の早期の把握や支援などの個別支援を進める必要があります。

県教育委員会においては、「不登校支援ガイド」を作成し、子供の状態に応じた関わり方を例示したり、教育支援センターやフリースクール等を紹介したりして、保護者等が適切な情報や支援を得られるようにしています。今後も相談窓口や関係機関・団体等の情報提供に努め、不安や心配事を相談できる体制の充実を図ります。

※ 「不登校支援ガイド」について、詳しくは県教育委員会 HP をご覧ください。

